

子どもの学習状況 遠隔把握

ソリユーション ヨンゲート ロボ・ズーム組み合わせ

ソリユーションヨンゲート（東京都荒川区、鈴木博文社長、03・6806・6400）は、算数教師ロボット

「ユニボ」とウェブ会議ツール「Zoom」を組み合わせた学習状況モニターアプリ「デスタンス・クラス・

システム」を開発した。問題を解くのに時間がかかったり、不正解が続いたりしている子どもを、理解ができ

ていないと判断し、講師が適切なタイムイングを見て個別指導する。複数塾で効果を実証中で2021年11月に100台、22年11月期に400台の売り上げを目指す。ユニボは子ども一人ひとりと対話をしながら、

理解に合わせて單元を進めていける卓上型のロボ。問題がなかなか解けない子どもには「ちょっと難しいかな。じゃあヒントを出すよ」と反応し、きめ細かな対応ができる。

新開発のアプリにより、ロボとZoomと連動させることで、子どもが問題に悩む様子や解答の正誤、解答までの時間が離れた場所にいる講師にリアルタイムで伝わる。講師は子どもの理解度を把握し、適切に個別フォローができる。

新型コロナウイルスの感染防止策により、多くの学校や塾でオンライン授業の実施が増えている。教える側からは「子どもの表情が見えるリアル授業と違い、内容を分かっているのかどうか判断が難しい」という悩みが多く寄せられている。